平成29年4月30日発行（毎月1回20日発行）

ふるさとへの思いと絆をつなぐ広報誌

4 2017 April No.71

ふるさとだより

久之浜・大久、四倉、平、小名浜、勿来

河津桜まつり、7年ぶりに開催

表紙から Message

津波被害により震災後は開催が見送られてきた、常磐共同火力（株）勿来発電所による「いわき・河津桜まつり」が3月12日に開催されました。震災後初となった今回は、花見客に暖かい飲み物が振る舞われ、この日を心待ちにしていた多くの家族連れなどで賑わいました。

勿来

各地区トピックス

久之浜大久

からすや食堂再オープン

四倉

親睦深める木工クラフト

平

待望の児童クラブ開所

小名浜

小名浜公民館まつり

ふるさとだよりの記事が動画で!! COCOAR

マークのある記事にスマホやタブレットをかざすと動画が画見られます!（見方はP8）

地域とともに生きる

久之浜こども園
園長
青木孝子さん

幼保連携型認定子ども園として再出発

震災後、平第一幼稚園で合同保育を行っていた幼稚園が、6年ぶりに久之浜に戻ることができました。国、県、市など多くの関係機関から支援を受け、0歳児から5歳児まですべての年齢のお子様を預かる幼保連携型の認定こども園としてスタート致します。ここに至るまでは、地域のみなさんから久之浜での再開を望むたくさんの声をいただき、大きな後押しとなりました。

近所の方にも気軽に来てもらえる様な、明るくそして賑やかな場所にしていきたいと思っております。

4月5日の入園式。落成したばかりの園舎で園児たちと話す青木先生

ふるさとの未来へ向けて

新店舗で再出発 からすや食堂

木の温もりが感じられる外観のからすや食堂

浜風商店街で営業していたからすや食堂が4月11日、旧道沿いに再オープンしました。船小屋をイメージした高い天井の店内は、とても明るい雰囲気です。初日は常連のお客さんが多く訪れ、馴染みの味に舌鼓を打っていました。

「地元をはじめ全国各地のお客さんに支えられてきた店です。隣にできる浜風きららと一緒に町を盛り上げていきたい」と話す店主の遠藤康義さん。昼時には、大勢のお客さんが行列を作り、賑わいをみせています。

私たちのふるさとへの願い

久之浜　遠藤義康さん・貴美さん

立　石川是法・弘子さん

久之浜・大久ピックアップ

末続見渡神社例祭

4月9日、末続見渡神社例祭が行われました。あいにくの雨模様にもかかわらず、若者たちが神輿と3基の神花を担いで山間部から海岸までの道を歩きました。

勇壮に練り歩く地元の若者たち

浜風商店街降幕式

入居期限となった3月31日、浜風商店街で降幕式が行われました。現在移転先に建設中の店舗もあり、夏頃まで撤去は見送られる予定です。

皆が見守るなか降ろされる横断幕

二つの植樹祭

3月18日、ピコブルーベリー農園で静岡県三島市のチーム桜龍in久之浜による桜植樹が行われ、翌19日には星廼宮（ほしのみや）神社で、鎮守の森づくり植樹祭が行われました。

180名が参加した星廼宮神社植樹祭

ふるさとの未来へ向けて

四倉地区防災連絡会議が開催

3月14日、平成28年度第3回四倉地区防災連絡会議が四倉支所で開かれました。平成27年度に行われた津波避難訓練と、昨年度に行われた市原子力防災訓練の結果が発表されたほか、東北大学災害科学国際研究所の松本行真准教授が「今後の津波災害時の避難について」と題して講演。松本准教授らが、昨年11月22日に発生した震度5弱の地震の際に、四倉地区の住民がどんな行動を取ったのかを調査し、車での避難が多く、道路が渋滞したことなどが報告されました。

平成27年度の津波避難訓練の結果を説明する松本准教授

地域とともに生きる

一般社団法人キッズスマイルFPいわき
代表理事
猪狩利江さん

子どもたちの自主性を重視した育成を

震災前から保護者会が主体となって四倉児童クラブを運営してきましたが、昨年、一般社団法人を立ち上げて、現在は市から委託を受け、四倉やまかぜ、四倉うみかぜ、大浦ののかぜ、そして今年4月からは豊間しおかぜの4つの放課後児童クラブを運営し、約130名の子どもたちをお預かりしています。子どもたちの自主性を育み、自分の力で判断し行動できる力を培いながら、一人ひとりの健全な育成と、保護者のみなさんの子育てと仕事の両立を支援していきます。

下校後、放課後児童クラブで、自主的に宿題を始める子どもたち

私たちのふるさとへの願い

おやつ屋Meguru　根本恵さん

西4丁目　渡辺義郎さん

四倉ピックアップ

親睦深める木工クラフト

3月22日、市公営住宅四倉南団地の集会所で、木工クラフト教室が開かれ、参加者は杉の間伐材を利用したプランターやキーホルダーなどを作りました。

プランターを作る参加者

華麗な演技を披露

3月5日、櫻花なわとびクラブの第34回なわとび大会が大浦小体育館で行われ、小学生から一般まで44名の選手が参加して、高難度の技に挑戦していました。

練習の成果を発揮する選手

28年度最後の四倉学

2月25日、第6回四倉学講座が四倉町商工会館で開かれ、鈴木製麺社長の鈴木千里さんが「四倉史学館と高倉山古生層の化石」をテーマに講義を行いました。

講師を務めた鈴木千里さん

地域とともに生きる

筑波大学大学院
小宅優美さん

まちづくりを笑顔でサポート

私は田人町の出身で、現在、筑波大学大学院生です。人を中心としたまちづくりについて研究しています。昨年4月、震災後、初めて豊間区を訪れ、地域の人たちの魅力に強く惹かれました。今年4月からNPO法人のスタッフとして週4日勤務し、とよマルシェ内の「豊間屋」の運営・販売や、まちづくりに関する事業のサポートをしています。

将来的には、研究者として学生たちに伝えていきたいと思っています。

アリオスで行われたイベントで物産の販売をする小宅さん（左）

ふるさとの未来へ向けて

県内初の津波高潮対策水門 沼ノ内弁天川水門見学会

ゲートの開閉を見守る住民たち

3月22日、沼ノ内地区の弁天川水門完成に伴う現場見学会が行われ、約40名の地域住民が参加しました。県職員による概要説明を聞いた後、水門前でゲートの開閉動作や水門操作室を見学しました。

東日本大震災で発生した津波が河川を遡上し、多くの被害をもたらしたことから県は、津波高潮対策として水門を整備しています。いわき建設事務所では平成26年度から市内4ヵ所で水門の工事に着手し、2月末に県内で初めて弁天川水門が完成しました。

私たちのふるさとへの願い

B&Bきゅういち　遠藤玲子さん

中華はまや　馬目さんご夫妻

平ピックアップ

慰霊碑の清掃活動

3月28日、薄磯地区に茨城県取手市のボランティア団体ピノキオクラフトクラブのメンバー小・中学生7名が訪れ、震災慰霊碑の清掃活動を行いました。

震災講話を聞く参加者

薄磯団地で寺子屋

3月25日、薄磯団地集会所で東北大学の協力により学習指導が行われました。「てつがくカフェ」も実施し、子どもたちの自由な発想を引き出しました。

身近な問題を考える子どもたち

雲雀乃苑で復興祈念祭

3月16日、塩屋埼灯台下の雲雀乃苑で「雲雀乃苑」復興・復活祈念祭を実施。式にはいわき応援大使の石井ふく子さんも招かれ、復興を宣言しました。

関係者によるテープカット

地域とともに生きる

江名代表区長
金成克哉さん

人々で賑わう明るい町を目指して

区長を務めて20年になります。震災時は、避難所となっていた江名小に避難物資を届けたり、被災地区のがれき撤去の手伝いやゴミ処理などをして、地区のために活動していました。

あの日から6年が経った今、震災当時と比べて地区の若者が減り、町にあった食堂などもなくなってしまいました。そんななかでも江名地区の良さを分かってもらい、たくさんの人々が江名に戻ってきてくれることを願っています。

昨年夏、江名公民館で開かれた学生によるミニコンサートで、挨拶をする金成さん

ふるさとの未来へ向けて

江名地区で防火パレード実施

住民が見守るなかでの元気な呼びかけ

3月2日、江名幼稚園児と江名女性消防クラブによる防火パレードが行われました。園児たちは、江名北町地内を歩きながら、元気よく防火の呼びかけをしました。

江名港をバックに記念撮影

私たちのふるさとへの願い

江名幼稚園児と大島・松本先生

江名小学校長 小泉育男さん

小名浜ピックアップ

おもてなしで笑顔に

3月26日、市公営住宅永崎団地集会所で、在日フランス人シェフによる支援団体「ラ・キャラバン・ボン・アペチ」が訪れ、芸能披露のほか軽食が振る舞われました。

歌や演奏、ダンスなどを披露

民謡で交流会

3月5日、市公営住宅永崎団地集会所に南相馬市出身の民謡歌手、小山みつなさんが訪問。二人の息子さんとともに民謡を披露し、大きな拍手が送られました。

民謡・三味線・鳴子を親子で共演

公民館まつり開催

2月26日、第35回小名浜公民館まつりが開催。同公民館で活動するサークルの作品展示や芸能発表が披露され、屋外では警察車両や消防車の展示もありました。

日頃の活動の成果を披露

地域とともに生きる

市行政嘱託員
岩間町新区長
水野米吉さん

あの日から6年、再び地区と向き合う

私は震災のあった年から2年間、区長代理を務めており、被災直後の地区の状況を間近で見てきました。あの頃は就任して間もなく、右も左も分からないまま忙しく動いていました。現在は復旧工事も大幅に進み、岩間町の景色も大きく変化しましたね。

現在の岩間町は、何をするにも人手不足なのが大きな問題となっています。そのような時こそ、地域住民が力を合わせ、地区が少しでも震災前のような雰囲気に近づけるよう、頑張っていきたいです。

平成27年12月に実施した「第1回小浜と岩間『わ』の集い」では、自身の畑で採れたネギを提供し、地区のイベントにも積極的に協力

ふるさとの未来へ向けて

今年度の事業についてアンケートを参考に検討

公営住宅におけるコミュニティ形成をテーマにした論文を発表する学生

3月21日、第22回勿来と双葉の共生コミュニティデザイン事業が、双葉町役場いわき事務所で行われました。

同事業に協力する芝浦工大の学生が、市内の公営住宅の状況を調査し、まとめた論文を発表。

また、1月に実施した「かるたんか交流会」で回収したアンケートを参考に、今年度実施する事業について話し合われました。今年度は同交流会を数回に分け、それぞれ会場を変えて実施する予定です。

錦町須賀地区 堤防沿い市道を付け替え

海岸堤防のかさ上げ工事に伴い行われていた市道錦町須賀5号線の付け替え作業が3月末に完了しました。

堤防沿いの延長530mを整備

私たちのふるさとへの願い

岩間町サロン　松山・森さん

同上　佐藤・平子・田子さん

勿来ピックアップ

岩間町集会所　落成を祝う

昨年12月に鍵の引渡しが実施された岩間町集会所の落成記念祝賀会が、3月5日に行われました。地域住民や清水敏男市長など約50名が参加し、落成を祝いました。

同集会所内で祝杯をあげる参加者

フォトコンテスト表彰式

2月28日、第7回「勿来八景」フォトコンテストの表彰式が行われ、勿来八景・フリーの部合わせて83点の作品から選ばれた13名の入賞者に、賞状が授与されました。

勿来支所で行われた表彰式の様子

ふるさとダイアリー

平　待望の児童クラブが開所

4月1日、豊間小敷地内に地域待望の学童施設「豊間しおかぜ児童クラブ」が開所しました。この日は、保護者や学校関係者のほか、地域住民も集まり、6年ぶりの再開を祝いました。児童クラブ施設長の新妻愛（めぐみ）さんは「地域が関心を持ち、支えられていて心強い」と話していました。

入所式には他地区の児童クラブの子どもたちも参加

清水敏男市長、関係者を交えて記念撮影

小名浜　小名浜港で船上見学会

3月18日、今年で5回目となる船上見学会が開かれました。市内外の小・中・高生とその保護者約260名が参加。観光遊覧船「ふぇにっくす」に乗船し、小名浜港や各ふ頭を見学しながら、役割やしくみについて理解を深めました。

船上から各ふ頭や船の様子を見学する参加者

間近で見る大型貨物船は迫力満点！

勿　来　「Smile,smile & smile！～みんなで一緒に輝こう！～」

勿来在住のデザイナー、秋元政明さんが代表を務める「team　Picasso（チーム　ピカソ）」による展覧会が、3月26日まで勿来関文学歴史館と吹風殿で行われました。昨年秋にアクアマリンふくしまで行ったものを縮小しての実施。障害を持った方々や市内の園児が描いた、およそ150点の絵画が並びました。

展覧会を企画した秋元さん

色鮮やかな作品の数々

久之浜・大久　期待いっぱい新生活スタート

4月5日・6日、久之浜・大久地区の保育所と子ども園で入所入園式、小・中学校で入学式が行われました。期待に胸を膨らませた浜っ子たちが元気に新生活をスタートさせました。
入園、入学人数は以下の通りです。

- 久之浜保育所16名
- 久之浜こども園85名
- 久之浜一小17名
- 久之浜二小7名
- 久之浜中27名

保育所入所の子どもたち、元気いっぱいのお遊戯

真新しい詰め襟とセーラー服に身を包んだ新中学生

四　倉　友だちいっぱいできるかな？

4月上旬、幼稚園や小・中学校などで入園式や入学式が行われました。たくさんの新入園児と新入生が、ちょっぴり緊張しながらも、期待に胸を膨らませながら新しい生活をスタートさせました。

4月6日・四倉中

新入生を代表して誓いの言葉を述べる船川優海（うみ）さん

4月6日・四倉小

新入生呼名で元気に返事をする1年生

4月7日・四倉第一幼稚園

14名の3歳児たちが幼稚園に仲間入り

4月6日・大浦小

式の後、教室で担任の先生の話を聞く1年生たち

いわき市ふるさとだより
No. 71
平成29年4月30日発行
●発行:いわき市 ●編集:有限会社 いまぁじゅ ふるさとだより編集室
●編集室:〒973-8411 福島県いわき市小島町3丁目3-3 プリンセス・アイ1F
Tel&Fax:0246-26-5157
Mail:furusato@asally.co.jp http://www.furusatodayori.com

お知らせ

21世紀の森公園「いわきグリーンベース」オープン

常磐湯本町上浅貝の21世紀の森公園内で整備が進んでいた、屋内多目的広場「いわきグリーンベース」が4月1日から供用開始となりました。オープンに先立ち3月27日には落成式が開かれ、約100名の関係者らが完成を祝いました。

同広場は人工芝張りの運動場となっており、フットサルやテニス、ゲートボールなど、多目的な利用が可能となっています。

また、災害時には救援物資の集積や分配のための拠点施設としても利用されます。

約3,000㎡の人工芝張り運動室

災害時の利用イメージ図

【問い合わせ】
市公園緑地課管理係　☎0246−22−7518

ふるさと伝言板

いわき駅北口駐車場を供用開始

供用開始／4月1日(土)
所在地／平字旧城跡16-3
駐車台数／60台

【問い合わせ】
市都市復興推進課管理係
☎0246-22-7530

住まいと暮らしの再建相談会

日時／5月28日(日)
①10:00 ②13:00
③15:00 (各90分程度)
場所／市役所本庁舎8階
定員／9組(各時間3組)

◆お申し込みは開催日の3日前まで。

【問い合わせ】市ふるさと再生課
☎0246-22-7437

ふるさとPICK UP

最後のミニ縁日を開催

3月5日、中央台高久第一応急仮設住宅の集会所で、田園調布学園大学の学生と教職員によるミニ縁日が開かれました。同大学では、長谷川洋昭准教授を中心に、震災直後から市内各地でボランティア活動に取り組んできましたが、今年3月末で同仮設住宅が閉鎖になったため、このミニ縁日が最後の活動となりました。集まった子どもたちは、射的や小豆つかみ、棒サッカーなどで楽しい時間を過ごしました。

割り箸で作ったゴム鉄砲で的を狙う射的は人気

紙を丸めた棒でボールを奪い合う棒サッカーを楽しむ参加者

編集室より

「ふるさとだより」が発行されて7年目になりました。今年も読みやすい誌面、分かりやすい情報を心がけていきます。1年間よろしくお願い致します。

久之浜・大久地区
■鈴木伴栄
＊本年度も引き続きお邪魔します。工事や住宅建築などで日に日に姿を変える町の様子やみなさんの復興へ向けた活動や思いをお伝えします。

四倉地区
■吉田　靖
＊引き続き四倉地区に足を運びます。着々と進むふるさとの復興の様子や、地域のみなさんの四倉への想いなどを、今年もご紹介します。

平地区
■志賀　新
＊今年度も平地区を引き続き担当します。町の復興事業も加速度を増し、町の姿が日々変わっていきますが、変わらぬ思いを発信していきます。

小名浜地区
■宗形祐子
＊今年度も小名浜地区を担当します。地域の明るい話題や、みなさんの元気な姿をお伝えするため、地域に寄り添っていきたいと思います。

勿来地区
■中山明穂
＊今年度も勿来地区を担当します。地域のみなさんの笑顔を、変わりゆくふるさとの姿を、分かりやすくお伝えできるよう頑張っていきます。

ふるさとだよりの記事が動画でも見られます！

① COCOAR アプリをダウンロード
iPhone/iPad「AppSTORE」から
Android「Google Play」から

②インストール後、アプリを起動すると右記のマークが表示されます。
③このマークをタップします。
④画像をスキャンします
⑤認識するとコンテンツが表示されます。

※画像に光が反射しないようにスキャンしてください！
注)ネット環境によって表示に時間がかかる場合があります。